

2012年11月 第26号

三重県労働組合総連合
〒514-0015三重県津市寿町7-50
みえ平和と労働会館
TEL 059-223-2615
FAX 059-223-4495
E-mail mieroren@circus.ocn.ne.jp



行事予定

11月18日(日) 13:30 小出裕章原発講演 鈴鹿国際大学
11月23日(金・祝) 10:30 小森陽一講演会 教育文化会館
橋下「維新の会」の手口を斬る
11月23日(金・祝) 13:30 TPP学習会 教育文化会館
「TPPでどうなる わたしたちの食と暮らし」
11月26日(月) 18:30 2013三重県春闘共同結成総会
12月3日(月) 全国いっせい労働相談ホットライン

国家公務員の賃下げ 地域経済を破壊

賃下げ訴訟に三重の3名が原告に

人事院制度を無視して国が国家公務員の賃下げをしたことに全国で370人が裁判でたたかいはじめ、8月第1回法廷が開かれました。訴訟には三重で3人が原告として立ち上がりました。これに対してみえ労連は、国家公務員攻撃が自治体職場、自治体職場の賃金に合わせて定められる地域民間企業に波及することから全面的に支援する取り組みを始めています。

7・8%
減額強行

2012年2月29日に国会は、国家公務員の給与を2012年4月から2年間にわたって平均7・8%引き下げる(「賃下げ特例法」)を強行成立させ、4月から減額支給されました。国家公務員は労働基本権が剥奪されており、その「代償措置」として人事院勧告によって給与等が決定される仕組みになっています。

「賃下げ特例法」は人事院勧告制度を完全に無視した、憲法違反の法律です。

原告の川下です。国土交通労組出身で、三重県国公議長です。「公務員賃下げ違憲訴訟」の公平な判決を求める署名にご協力をお願いします。賃下げの連鎖に歯止めをかけましょう!



5月25日、国家公務員の全国のなかまが東京地裁へ「賃下げ法は違憲」として国に賠償を求め訴訟を起こしました。現在47都道府県11単組370名の原告団を組織し、三重県では3単組3人で提訴に加わりました。

国公労連は「国の賃下げは、賃下げの負の連鎖が現実になりつつある。提訴に踏み切ったのは、賃下げの連鎖に歯止めをかけるためである。最賃の大幅引き上げ、均等待遇の実現、賃金を人間らしく働ける水準に引き上げ、良質な雇用を確保する運動と一体でたたかいを進めていこう」と訴えています。

公務員の賃下げ
すべての国民に
影響

広がる
連帯の声

国家公務員の賃金は、地方公務員や独立行政法人、私立学校、公立病院、社会福祉施設、農協・漁協職員など625万人に影響します。

その結果、ただでさえ低下している国民の購買力低下をもたらし、地域経済にも多大なマイナスの影響を及ぼします。税金も減り、格差と貧困をいっそう深刻にします。

日本の労働者の賃金はここ10数年で公務では約71万円、民間でも約53万円も減っています。これでは「経済の再生、向上」など望むべくもありません。

全農協労連からは「一方的な賃下げは、民間だと労働基準法でも禁じられている違法な行為。農協には公務員に準じている職場もたくさんある。賃金の連鎖に歯止めをかけるためたたかっています」

自交総連からも「賃下げされればモノが売れないから賃下げ、リストラと悪循環が続く。労働者同士で足のひっぱりあいをするのはなく、低いところを引き上げるために共にがんばろう」と連帯の声を頂いています。



10月29日東京地裁前要求行動

三重県人事委員会に 要請行動

9月19日、みえ労連は、公務労組連絡会、みえ自治労連、みえ教育ネットワークとともに、県人事委員会への要請を行いました。国家公務員の人事院勧告や4月からの7・8%賃下げに対し、非正規を含めた職員の生活安定と地域労働者への影響をふまえ、人事院勧告に追随することなく、改善と充実に強く要請しました。



「早く辞めないと損する？」賃金学習会

自治労連・尾鷲市職員労働組合は10月12日、賃金学習会を開催しました。国家公務員の退職手当「削減法」の閣議決定に、職場内で「早く辞めないと退職金が減って損をする」との声が出て、三重県本部と共催しました。当日は管理職を含む30名が、真剣に自治労連本部副委員長の話に聞き入りました。



秋の拡大月間 進む

10月〜12月まで「秋の仲間増やし月間」に取り組んでいます。みえ労連はこの期間に「2000人の仲間を増やそう」と決定しました。

戦略としては「組織人数の10%増」を追求して、来年夏には、5500人みえ労連を実現するという目標です。

①それぞれの組合で、まず「〇〇人増やす」という目標を立てましょう。

②そして手分けをして要求を聞き、「一緒に実現に取り組もう」と働きかけましょう。

《各組織の取り組み》
医労連では、春の拡大に続いては「すみをつけよう」と話し合いました。

自治労連では、学童保育・社会福祉協議会分野での取り組みを進めています。

《地域労連》
北勢労連は、結成8年で組合員数が2倍近くとなったことから、より一層地域に密着した運動を進めるため、3つの地域労連(三

洲労連・鈴鹿労連・桑名労連)を展望、さらに仲間増やしを進めます。大会では「職場アンケートをもとに、職場

の80%超の囁託・臨時さんに働きかけたい」

など各単組から仲間増やしの発言も。南勢労連の大会では、早期に100名以上拡大実現の方針を確定しました。

中勢地域は、11月9日に全労連方針と単産方針を中心に学習、意見交流しました。「拡大計画を持つことが何より重要」ということを確認し合いました。

確認し合いました。

官製ワーキングプア解消・医療現場の改善を要請 自治体アンケートで懇談

みえ労連は、春には「憲法キャラバン」(5回目)、秋は憲法を行政に生かす「自治体キャラバン」(第8回)、「病院キャラバン」(第4回)に取り組んでいます。今年も9月24日から1ヶ月、三重県と29市町、17自治体病院の全てと懇談しました。

非正規職員の特別休暇 大きく前進

懇談をやりあるものに、と事前アンケート結果をまとめたみえ労連新聞「三重の姿・かたち」を発行し、それをもとに dialogue を行いました。懇談相手は市町長(副町長)10名、ほぼ全市町の総務部長(町は課長)等が参加しました。懇談テーマは、①生存権保障に関わって働くケ



亀山医療センター事務長・看護部長との懇談

①スワーカー、児童相談員、保健師等の増員でセーフティネット確立を。
②雇用の3〜4割を占める官製ワーキングプアというべき非正規職員の待遇改善を。
③税金投入する外郭・社協・学童保育・障がい施設・介護職場もワーキングプアであり、底上げを。
④ワーキングプア(働く貧困層)を防ぐための公契約条例の検討を。
⑤いのちと地域を守る自治体病院の充実、医師・看護師確保を、です。着実に前進しています。



三重県との懇談

三重県として 果たすべき 役割を要請

三重県とは、県が果たすべき役割について懇談しました。

医療政策室とは「全国最低レベルにある医師看護師の確保」「人口数が不均衡な二次医療圏の見直し」を、子ども家庭課とは「認可外保育所への県助成金カット、学童保育への県補助金カット」など制度の谷間・隙間に目配りしていた県の役割を、引き続き果たすべきであり、虐待死を防止できなかったことも問題」などと指摘しました。

看護は「手」と 「目」で行う

懇談をしたある自治体病院で定年前の看護部長が、「私が看護婦になった頃は、夜勤があつて当たり前だった。今はすっかり変わってしまった。先輩に「『看護師』は字が示すように、『手』と『目』で看護する」と教えられた。今は患者を見ずにパソコンを見て看護する。医師も同じ」と寂しそうに話してくれたことが印象的でした。

サマセミで元気 もらいました!

～サマセミ実行委員会 益井敏行～
9月21日～23日

みえ労連や多くのみなさんの援助をいただき、三重から4人でサマセミセミナーに参加できました。「輝く未来(あす)のために」芦浜原発阻止の経験・思いを学んで」という分科会を担当しました。事前に何度も打ち合わせや準備をおこない、なんとか成功させることができました。

三重県に原発をつくらせなかつた闘いの意義について改めて学ぶことができ、活発に意見交換できる場をつくることができたことです。よく学び、交流することができ、その魅力を実感することができました。



寿町から
▽中国の古い書物『礼記(らいぎ)』に「礼楽刑政」という言葉があります。
▽古来、中国では国や社会の秩序を保つために欠かせないと考えられていた礼節・音楽・刑法・行政のことで、これを有効に用いれば平和で秩序ある国が実現できると考えられてきました。
▽音楽について、我が国の文化予算をみると総額でベルリンフィルやリンカーンセンターなどの海外の一体体に対する金額よりも大幅に低い。
▽大阪市橋下市長は、世界に誇る文楽や大阪フィルハーモニー交響楽団への補助金を1億6千万円も削減し、府知事時代には、大阪センチュリー交響楽団への補助金を廃止しました。
▽豊かな文化を育て、国民がそれらを楽しむことによつて憲法第25条「すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」ことができま

編集後記

めつきりと寒くなり秋めいてきました。あと2ヶ月で今年も終わります。やり残しのない日々を過ごしていきたい。(勝)

みえ教育ネット 大会開催

9月8日、第10回大会を開催。「荒れたクラスを任せられ、支援も得られず孤立したが、ネットの仲間が声をかけてくれて乗り越えられた。」「公務員の退職金400万円削減の閣議決定に、職場は怒っている。組合が断固たたかうことを期待。」など、組合への期待やお礼の発言が。



高山化成労組 団体交渉

9月11日、今年の賃上げ交渉が「社員1万円賃上げ要求に対して2,224円」、「時間給社員50円賃上げ要求で最高60円アップ」での妥結でした。組合ができて1年半に29回の団交で着々と実績を積み上げています。



オスプレイ配備反対 集会・デモ

10月21日、安保廃棄諸要求貫徹三重県実行委員会主催の集会とデモ。お城西公園に100人が集まり、沖縄へのオスプレイ配備と飛行訓練開始への抗議文を採択。



南勢労連 定期大会開催

11月7日、第2回定期大会を開催。

北勢労連 定期大会開催

11月8日、第9回定期大会を開催。「団結ガンバローは、議長の音頭で」が定番。今回は、ひよこ分会の若い男性保育士が発声。何ら臆することない若さが参加者に伝わり、清々しい閉会に。



みえ労連トピックス